

2019小児歯科学会近畿地方会 口腔機能と姿勢の関連について 事後抄録

口腔機能と姿勢の関連について

○小石剛,岡崎好秀* (こいし・こども矯正歯科,*モンゴル健康科学大学)

【目的】

近年,小児の口腔機能の計測が盛んに行われるようになってきている.口腔機能は姿勢に影響されると考えられる¹⁾.しかし,小児の口腔機能の測定時の姿勢については詳しく調査されていない.そこで,口腔機能と姿勢の関連について調べた.

【方法】

20代~40代の女性14名(平均32.9歳)に対して,舌圧(JMS舌圧測定器:株式会社ジェイ・エム・エス)および口唇閉鎖力(LIPDECUMLCD-110R®:コスモ計器)の計測を,座位および立位のそれぞれ良い姿勢・悪い姿勢において,各4回(計8回)計測した.

良い姿勢とは,「両足の足底が接地し,地面とほぼ垂直である体軸上に頭部が位置する状態」とした.また悪い姿勢とは,良い姿勢ができていない状態とした.

【結果】

姿勢によって計測結果が変化し,悪い姿勢よりも良い姿勢の方が数値が高かった(表1).t検定において,全ての結果に有意差($p<0.001$)を認めた.

年齢(歳)	座位				立位			
	口唇圧(N)		舌圧(kPa)		口唇圧(N)		舌圧(kPa)	
	悪い姿勢	良い姿勢	悪い姿勢	良い姿勢	悪い姿勢	良い姿勢	悪い姿勢	良い姿勢
32.9	7.56	9.25	30.6	34.48	7.9	9.02	32.25	34.92

(表1 *数値は全て平均値.小数点第3位以下は四捨五入.)

【考察】

- ・今回は調査対象が小児ではなかったが,小児でも同様の結果が得られたと考え得る.
- ・口腔機能と姿勢は関連していると考えられる.
- ・小児や成人問わず,口腔機能の計測時の姿勢に留意するべきである.
- ・姿勢の改善によって,口腔機能が改善することが示唆された.

【参考文献】

小石剛,赤井綾美,西川岳儀,高島隆太郎.子どもの口腔機能を育む取り組み 前編~後編.歯科衛生士,2016;40(11):38-51,40(12):54-67.

本研究に関する発表者の利益相反:なし

[こいし歯科 - 池田市 大人専門の歯科医院 >>](#)

[こいし・こども矯正歯科 - 池田市 こども専門の歯科医院 >>](#)